

平成 28 (2016) 年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

平成 28 (2016) 年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、フォーラム、広報活動などに取り組みました。また、希少動物保護団体の参画による新たなプロジェクトの創設やプロジェクトサポーター制度（新規事業）に伴う事業者との連携など、新たな協働連携による環境活動を展開しました。

1 各プロジェクトの活動

(1) プロジェクト及びスペシャルプロジェクトへの取り組み

① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト

キッズ生ごみ農園クラブを創設し、生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫、生ごみと交換したり朝市で販売できました。啓発啓蒙活動では、各種イベントに参加(信州環境フェアにて展示・クイズ・生ごみ教室、アモーレフェスタにて展示・クイズなど)し、チームの活動パンフレット 500 部を配布、啓発活動を実施しました。また、生ごみ堆肥化のキャラバン隊活動を安茂里地区・若槻地区で維持し、生ごみ減量講座では、長野市が引き続き幹旋基材としてビタピー 5 基材を 300 円で提供しました。

② レジ袋使用削減プロジェクト

「マイバッグふえすた」を開催し、手作りマイバッグコンテストでは例年通り、多くの申し込みがあり、市民にマイバッグをPRする貴重な機会となりました。また、啓発用パンフレットを作成し、新たな啓発用ツールが加わりました。これらの活動が実りマイバッグ持参率が 2 年連続の 60%を超え (H 28 年度：65.5%)、調査開始以来、初めて県の持参率を超えました。

③ 市民の森づくりプロジェクト

本年度も諸事情により第二の市民の森選定作業が進まなかったが、例年通り市民の森(ボブスレー・リュージュパーク内)の定期的な整備、森づくり市民講座、きのこ駒打体験、かんじき体験会等を開催しました。本年度の活動参加者は、夏場の天候不順等により年間 550 名弱となりましたが、他のプロジェクトチームとの協働による活動が行われたなど活動実日数は増加傾向となりました。

④ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト

各種イベントに参画し啓発活動を行いました。また、水上太陽光発電施設等の視察を通して、太陽光発電の良さを再確認することができました。

⑤ 聖山自然復元プロジェクト

今年度は、大岡小学校の緑の少年団との協働活動が実現できなかったが、大岡森林塾との協働が実現し、例年通り聖山の復元作業を実施することができました。また、信州大学工学部「地域環境演習 I」の受け入れによる環境学習への協力を行いました。

⑥ 子どもの環境学習支援プロジェクト

中高生を対象とした環境学習の支援として「第 5 回国際ユース環境会議」を開催し 39 名の過去最多のユースの参加を得て、「地産地消」をテーマに小田切地域の自然や生活について学びました。また、6 か国の外国籍ユースとインターネットを用いて英語によるコミュニケーションを図り、ユースの視野の拡大につながりました。

⑦ ながのカーボンオフセットプロジェクト

事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット(CO2 排出権)の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至りませんでした。

⑧ 小生物の生育環境保全プロジェクト

オオムラサキ繁殖地の整備を実施し、特に市民の森づくりプロジェクトの協力を得て、繁殖地に侵

入した外来生物ニワウルシの駆除を実施したほか、松代地区内の小学校や一般市民を対象とした、観察会を実施しました。また、「マツロベエトヒガン」1,000 本桜作戦と銘打って、エドヒガンを市内に広げるため、エドヒガン種採取及び昨年育苗した苗の接ぎ木作業を実施しました。

⑨ **ぼんすけ育成プロジェクト【新規プロジェクト：平成 28 年 9 月理事会で承認】**

ぼんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい自然が残る信里地域で育った農作物を「ぼんすけブランド」として販売したり他団体等の協働によるため池の保全活動を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動が展開できました。また、会独自のホームページを作成し、信里のぼんすけ情報を日本全国に発信できました。

⑩ **生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト**

休会（活動継続に向け調整中）

⑪ **ながの環境団体大集合 2017 スペシャルプロジェクト（SP）>**

ながの環境団体大集合の開催に向け、スペシャルプロジェクトを立ち上げ、全体構成やコンテストの方法等について各種団体等との協働により企画し、開催しました。

（任期：11月1日（火）から2月9日（木）まで、会議開催数：5回）

【リーダー】 渡辺ヒデ子（ながの環境パートナーシップ会議）

【メンバー】 中城（長野市市民協働サポートセンター）、小宮山（長野市ボランティアセンター）、赤羽（ながの環境パートナーシップ会議）、堀池（長野市地球温暖化防止活動推進センター、ながの環境パートナーシップ会議）、倉又（ながの環境パートナーシップ会議）、河西（ながの環境パートナーシップ会議）、高橋（事務局）、関口（事務局）

(2) **プロジェクトサポーター制度の創設について**

当会議では、事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に当制度を創設しました。なお、4つの各プロジェクトをサポートしていただける事業者は次のとおりです。

【現在の参画状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社
ぼんすけ育成	信陽食品株式会社

(3) **信州大学工学部「地域環境演習 I 2016」の受け入れ**

信州大学工学部が、「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習 I 2016」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、環境保全活動を行いました。また、9月24日（土）には信州大学工学部で、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【信大生の受入人数】 28人（前年度11名）

【受入プロジェクト】 生ごみ削減・再生利用1人、レジ袋使用削減2人、聖山自然復元7人、子どもの環境学習支援12人、小生物の育成環境保全6人

2 **ながの環境パートナーシップ会議全体での活動**

(1) **環境活動報告会**

アジェンダ 21 ながの環境基本計画-2013 の行動計画・数値目標を踏まえ、各プロジェクトの活動及び

計画を会員相互で確認・評価を行い、ながの環境パートナーシップ会議の活動の活性化を目的として開催しました。

日時：平成28年12月3日（土）10:00～12:00

会場：長野市生涯学習センター3階 第1・2学習室

【参加者数】 26名（前年度の公開学習会48名）

(2) ながの環境団体大集合2017 ～ながの環境活動コンテスト～

団体や企業の環境活動を発信し、次世代の若者を中心とした市民の皆さんへ伝えるとともに、団体、企業相互の交流・協働のきっかけとなることを目的に、「ながの環境活動コンテスト」を開催しました。

また、若者の皆さんが審査員となり、各団体や企業の活動について若い世代のセンスあふれるユニークな表彰を行い、環境活動を次世代につなぎ伝える場となりました。

日時：平成29年1月29日（日）13:00～16:40（開場12:30）

会場：長野市生涯学習センター4階 大学習室2・3、ホワイエ、控室1・2

【コンテスト】

各団体2分間で活動アピールを行い、審査員や来場者と2分間の質疑応答により審査が行われました。

【ブース発表・交流】

来場者は自由に各ブースを見学しながら、活動発表の確認や交流を行いました。また、フードドライブ及び信州こども応援ドライブの受付コーナーを設置し、それぞれの活動を支援しました。

【大集合した団体・企業・学校】 ※はブース出展のみ

○団体：天空の里いもい農場、NPO法人フードバンク信州、希少種の会

NPO法人NPOホットライン信州、NPO法人みどりの市民

健康な未来を考える Sowing.net※、母さんの玉手箱本舗企業組合※

○企業：株式会社ハウスプラザ信越

○学校：長野県更級農業高等学校環境科学コース、長野県長野工業高等学校環境システム班

長野県長野工業高等学校機械科※

○ながの環境パートナーシップ会議プロジェクト

生ごみの削減・再生利用、レジ袋使用削減、市民の森づくり、聖山自然復元※

太陽エネルギー普及促進、こどもの環境学習支援、ながのカーボンオフセット※

小生物の育成環境保全、ぼんすけ育成※

【審査委員長】 すぎもといくお 杵本育生氏（認定NPO法人環境市民代表理事）

【審査員】 若者の皆さん15名

清泉女学院大学・短期大学（5名）、長野清泉女学院中学・高等学校（1名）

長野県短期大学（2名）、長野美術専門学校（1名）、第一学院高等学校長野キャン

パス（3名）、長野市役所（3名）

【表彰5団体】 ・環境を良くするためにがんばっているで賞：天空の里いもい農場

・夢があるで賞：市民の森づくりプロジェクト

・私たちがやってみたくて賞：NPO法人NPOホットライン信州

- ・ 想いが伝わったで賞 : 株式会社ハウスプラザ信越
- ・ つないで行くべきで賞 : 生ごみの削減・再生利用プロジェクト
- ・ 審査委員長特別賞 : 長野県更級農業高等学校環境科学コース

【参加者数】 180名 (前年度:90名)

3 広報

(1) ながの環境パートナーシップ会議ホームページの運用

- ・ 各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・ 他団体などから情報提供されたイベント等を掲載

(2) 平成28年度ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書の発行を承認

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくために「ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書(仮称)」を発行することになりました(平成29年2月の理事会で承認)。

【規格】 表紙4P 本文36P 中綴じ仕上げ

【印刷数】 300部

【内容】

- ・ ながの環境パートナーシップ会議の案内
- ・ 平成28年度運営方針
- ・ ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告
- ・ プロジェクトの活動成果報告
- ・ 信州大学工学部地域環境演習の報告
- ・ 新聞記事
- ・ 役員名簿

・ 刊行は、平成29年8月を予定しています。
 ・ 当報告書が出来次第、関係機関にPRするとともに新規会員の勧誘時に活用いたします。

(3) イベント等への参加

① 信州環境フェア2016

日時：平成28年7月30日(土) 10:00~17:00、31日(日) 10:00~16:00

会場：長野市 ビッグハット

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：約400人(前年度:約300人)

内容：ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介(パネル展示、パンフレット配布など)
 プロジェクト活動紹介、環境クイズなど(生ゴミ削減・再生利用、レジ袋使用削減
 市民の森づくり、小生物の育成環境保全)

4 他団体との連携

(1) ながの環境団体大集合2017への事業所・環境保全団体への働きかけ

事業所・環境保全団体との連携強化を図るため、周知をはかり参加依頼を行いました。

(2) 「ライトダウンキャンペーン2016inながの」への協力

ライトダウンながの実行委員会の構成団体として、温暖化防止・CO2削減の啓発活動に協力しました。

【キャンペーン期間】 夏： 6月21日(火)~7月7日(木) 午後8時から10時
 冬： 12月7日(水)~12月21日(水) 午後8時から10時

(3) 事業所・環境保全団体との活動の連携

【生ごみ削減・再生利用プロジェクト】住民自治協議会と協働で、生ごみの堆肥化講座と生ごみ堆肥を利用する講座を開催しました。

【レジ袋使用削減プロジェクト】スーパーの協力を得て、レジ袋削減を考える会など多くの環境保全団体とともに店頭キャンペーンを行いました。

【市民の森づくりプロジェクト】仮称第二の市民の森選定作業に伴い、現地の森を管理する団体や地元の方々との意見交換を重ね、協力体制の確立を図りました。

【子どもの環境学習支援プロジェクト】「国際ユース環境会議 in ながの」を、実行委員会、参加スタッフ、支援組織との協力により継続して開催しました。

【聖山自然復元プロジェクト】聖山の生物多様性保全活動を大岡森林塾と協働して行いました。

【小生物の育成環境保全プロジェクト】オオムラサキ繁殖地での活動を、住民自治協議会及び他の保全団体を含めて組織された連絡会により、計画的な保全と環境学習等を実施しました。

【ぼんすけ育成プロジェクト】NPO法人生態工房（東京）との協働によりシナイモツゴの生息地であるため池の保全活動を行いました。

(4) フードドライブ及び信州子ども応援ドライブへの協力

家庭で利用されていない食品・生活用品等の寄附を受け、必要とされている家庭や信州子ども食堂へお届けしているNPO法人フードバンク信州及びNPO法人NPOホットライン信州の事業に賛同し、フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力しました。

事業名	実施日
フードドライブ	12/3：環境活動報告会、1/29：ながの環境団体大集合
信州子ども応援ドライブ	1/29：ながの環境団体大集合

(5) 特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動に参加協力

豊かな環境づくり長野地域会議が主催するアレチウリの駆除活動に参加協力しました。

【開催日時】平成28年7月1日（金）9:30～11:30

【駆除会場】長野市若穂牛島落合橋運動場周辺

【参加者数】8人

(6) 秋のゴミゼロ運動及び春のゴミゼロ運動に参加協力

市民の手でごみのない美しい環境をつくるための全市的な環境美化運動として、クリーン長野運動推進本部が主唱する「ゴミゼロ運動」に参加協力しました。

【開催日時】秋：平成28年10月16日（日）9:00（概ね1時間）

春：平成29年5月28日（日）9:00（概ね1時間）

【場 所】八幡原史跡公園（集合場所：同公園駐車場公衆トイレ前）

【参加者数】秋：13人 春：10人

(7) 「ながの未来カフェ」に参加

長野市が第五次長野市総合計画（答申案）に対する市民の様々な意見を、パブリックコメントとして聴取するために開催した「ながの未来カフェ」に参加しました。

【開催日時】平成28年12月10日（土）14：00～16：00

【場 所】長野市役所第一庁舎1階 市民交流スペース

【参加者数】15人

(8) 他環境団体等への周知

ニュースレター「手をむすんで」やパンフレットを市内事業所などに配付をしました。

5 会議

(1) 通常総会

日 時：平成28年6月12日（日）10:00～12:00

会 場：長野市ふれあい福祉センター5階 ホール

出席数：69人（出席24名、委任45名 会員数115名）

内 容：平成27（2015）年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

平成28（2016）年度活動方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について
役員改選について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を13回開催しました。

第5・7・8・12・13回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催し、各チームリーダーから上半期の進捗状況と下半期の計画等について説明を受け、プロジェクト活動の進捗状況について助言を行いました。

また、理事会及び合同会議では、事業所会員の参画や、ながの環境パートナーシップ会議の運営体制の見直しなど、本会が持つ課題に対して引き続き対応します。

回数	開催日時	出席理事数	備考
第1回	6月3日（金）18:30～	6人	
第2回	6月12日（日）12:30～	10人	
第3回	7月7日（木）18:30～	9人	
第4回	8月4日（木）18:30～	8人	
第5回	9月15日（木）18:30～	7人	合同会議
第6回	10月13日（木）18:30～	8人	
第7回	11月10日（木）18:30～	9人	合同会議
第8回	12月15日（木）18:30～	7人	合同会議
第9回	1月19日（木）18:30～	8人	
第10回	2月16日（木）18:30～	7人	
第11回	3月23日（木）18:30～	7人	
第12回	4月13日（木）18:30～	9人	合同会議
第13回	5月18日（木）18:30～	8人	合同会議

(3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

6 市政への参画

審議会等名称	会員名
長野市総合計画審議会環境作業部会長 長野市環境審議会 委員	金井 三平
長野市総合計画審議会環境作業部会員 長野市廃棄物減量等推進審議会 委員	渡辺 ヒデ子
長野市総合計画審議会環境作業部会員	河西 弘明
長野市総合計画審議会環境作業部会員	堀池 政史
長野市健康増進・食育推進審議会 委員	佐藤 敏夫
長野市環境こどもサミット実行委員会 委員	小山 勝宏

7 その他

(1) 寄附

平成 29 年 3 月 1 日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約 80 の事業所で作る同組合は、一昨年から市場内で出た古紙を原料にトイレットペーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレットペーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

(2) 会員

平成 29 年 5 月末現在の会員数 135 人（平成 28 年 5 月末 115 人）

(3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成 18 年度 1,676 人

平成 19 年度 2,495 人

平成 20 年度 3,152 人

平成 21 年度 2,448 人

平成 22 年度 2,790 人

平成 23 年度 4,116 人（第四次長野市総合計画 前期計画 目標値 3,000 人）

平成 24 年度 4,176 人

平成 25 年度 3,638 人

平成 26 年度 3,566 人

平成 27 年度 3,766 人

平成 28 年度 4,112 人